

安心・安全な移送方法について

2階病棟 猪崎、新田、吉村

1 目的

目的の場所まで安全安楽に移送すること

2 実施するために必要な情報把握

患者の疾患の種類や医師からの制限事項の有無、安静度の把握をする

患者の移動に関する意思や認知レベルの把握

年齢や体格

体内への挿入物（留置カテーテルやチューブなど）の有無

3 注意点

救護区分（担送・護送・独歩）に合わせた適切な介助方法で患者を搬送する

4 ベッドからストレッチャーへの移乗 （移動用マットを利用する方法）

〈必要物品の準備〉

ストレッチャー、移動用マット

物品は使用前に、破損やスムーズに操作できるかを必ず点検する

〈方法〉

1. ベッドサイドにストレッチャーを運ぶ
2. ストレッチャーの高さをベッドの高さと水平になるようにそろえる
3. ストレッチャーはベッドと隙間なく平行に置き、両方のストッパーをかけておく

4. 患者をストレッチャーと逆側に側臥位にする
5. 移動用マットを患者の下に敷きこむ
6. 患者を移動用マットの上に仰臥位にし、患者の両手を前に組むようにする（できる場合）
7. ベッド上をスライドさせてストレッチャーに移動する
8. 移乗後、必ずサイドレールを取り付け、転落防止をはかる

5 ストレッチャーでの移送方法

1. ストレッチャーを移送しやすい高さに調節する
2. 通常は、足元を先にして進む
昇るときは頭部、降りるときは足元を先にし、傾斜の高い方に頭がくるようにする
3. わずかな段差でも車輪を持ち上げるようにして移動し、振動を少なくする
4. 移送中のストレッチャーの後方を担当する介護者は常に患者の状態を観察しながら移送する

【エレベーターの乗り方】

「進行方向の原則」からはなれて、エレベーターに乗る時は患者の頭をから先に入る

6 車椅子での移送方法

1. 車椅子の点検・整備（ブレーキの効き具合、キャスター、タイヤの空気圧、フットレストの開閉）を確認する
2. 移乗しやすいように、ベッドの高さやベッド柵などを整える
3. 車椅子とベッドとの角度が 30 度～45 度になるように置く
4. ブレーキをかけ、動かないことを確認したらフットレストを上げておく
5. 患者を車椅子に移乗し、シートに深く腰をかけてもらう
6. フットレストを下して足を乗せ、安全を確認してからブレーキをはずす

7. 車椅子を押す場合、患者の状態を確認しながらゆっくり移送する

【エレベーターの乗り方】

乗る時はそのまま直進し、エレベーター内で方向転換をする

7 段差がある場合の車椅子の介助方法

【段差を昇る場合】

ティップングレバーを踏み、てこの原理で前輪を持ち上げ、前輪を段差の上に乗せたら、ハンドルを持ち上げるようにして車椅子を前進させる

【段差を降りる場合】

後ろ向きにし、大車輪から降りる